

三島工業団地ニュース

No.9 令和3年9月1日

Vol.43 三島工業団地協同組合

9月1日は「防災の日」

8月30日(月)～9月5日(日)は「防災週間」です。

企業防災が必要な理由は、企業には従業員や顧客の生命の安全を第一に考える責任があるからです。また、それだけでなく地域社会の一員として企業活動をできるだけ維持して災害の復旧・復興に貢献する責任も負っているからです。災害により大きな損害を企業が受ければ、業務が停止する可能性があります。その間は地域社会へ貢献ができず、また取引先を含む利害関係者への製品やサービスの提供もできないので、場合によっては災害を受けていない地域の経済・社会へも大きな悪影響を与えます。さらに、倒産の危機に陥る可能性もあります。そのため、防災と事業継続(BCP)を考えた二つのアプローチは密接に関係し、共通する対策も含まれることから両方を同時に推進しなければなりません。

《 自社の企業防災対策の現状を知る 》

以下の項目をチェックし自社の防災対策の現状を確認してください。これが防災対策の全てではありませんが、自社なりに優先順位を決めて少しずつ対策を進めていきましょう。

【従業員などの生命、身体等の安全確保】	<input type="checkbox"/> 建物や設備の点検を定期的に行っている。
<input type="checkbox"/> 防災担当者がいる。	<input type="checkbox"/> 避難経路を確保し、定期的に防災訓練を行っている。
<input type="checkbox"/> 想定される被害を把握している。	<input type="checkbox"/> 地域と連携を取っている。
<input type="checkbox"/> 災害時情報を得る手段を把握している。	<input type="checkbox"/> 地震発生時の行動について全従業員で情報共有している。
<input type="checkbox"/> 消火器や火災報知機、スプリンクラーなど二次災害を防ぐ対策をしている。	【通信手段の確保】
<input type="checkbox"/> 従業員を救出するための道具を用意している。	<input type="checkbox"/> 衛星通信など災害発生時の通信手段を複数確保している。
<input type="checkbox"/> 安否を確認する手段が決まっている。	<input type="checkbox"/> 携帯電話などを充電できる非常用のバッテリーを準備している。
<input type="checkbox"/> 災害時、全従業員の帰宅方法を把握している。	【事業の継続】
<input type="checkbox"/> 全従業員の避難先を把握している。	<input type="checkbox"/> 事業を継続する方法を把握している。
<input type="checkbox"/> 全従業員の家族の安否の確認方法が決まっている。	<input type="checkbox"/> 事業継続のための組織体制を整えている。
<input type="checkbox"/> 食料を社内などに備蓄している。(最低3日分)	<input type="checkbox"/> 復旧に必要な資材や機材を把握している。
<input type="checkbox"/> 定期的に備蓄品を確認している。	<input type="checkbox"/> 目標の復旧時間が決まっている。
<input type="checkbox"/> 医薬品を社内などに備蓄している。	<input type="checkbox"/> データの管理方法が決まっている。
<input type="checkbox"/> 簡易トイレを用意している。	<input type="checkbox"/> 重要なデータや管理・運営しているウェブサイトの復旧手段を把握している。
<input type="checkbox"/> 毛布やマスクなどを用意している。	<input type="checkbox"/> 被災時に備えて保険や銀行の災害時融資を予約したり、自治体の災害時ローンを検討したりしている。
<input type="checkbox"/> 建物内の危険個所を把握している。	
<input type="checkbox"/> 落下防止対策をしている。	